

# 第2次焼津市環境基本計画(後期計画) 令和4年度取組結果について



▲R4. 11月 やいづビーチクリーン大作戦 (石津浜)

令和5年8月23日

令和5年度 第1回環境審議会

市民環境部 環境課



① 環境目標

1 取り組み方針

① 市の環境施策

② //

数値目標に対する実績グラフ

数 値 目 標

年度ごとの実績値グラフ

数 値 目 標

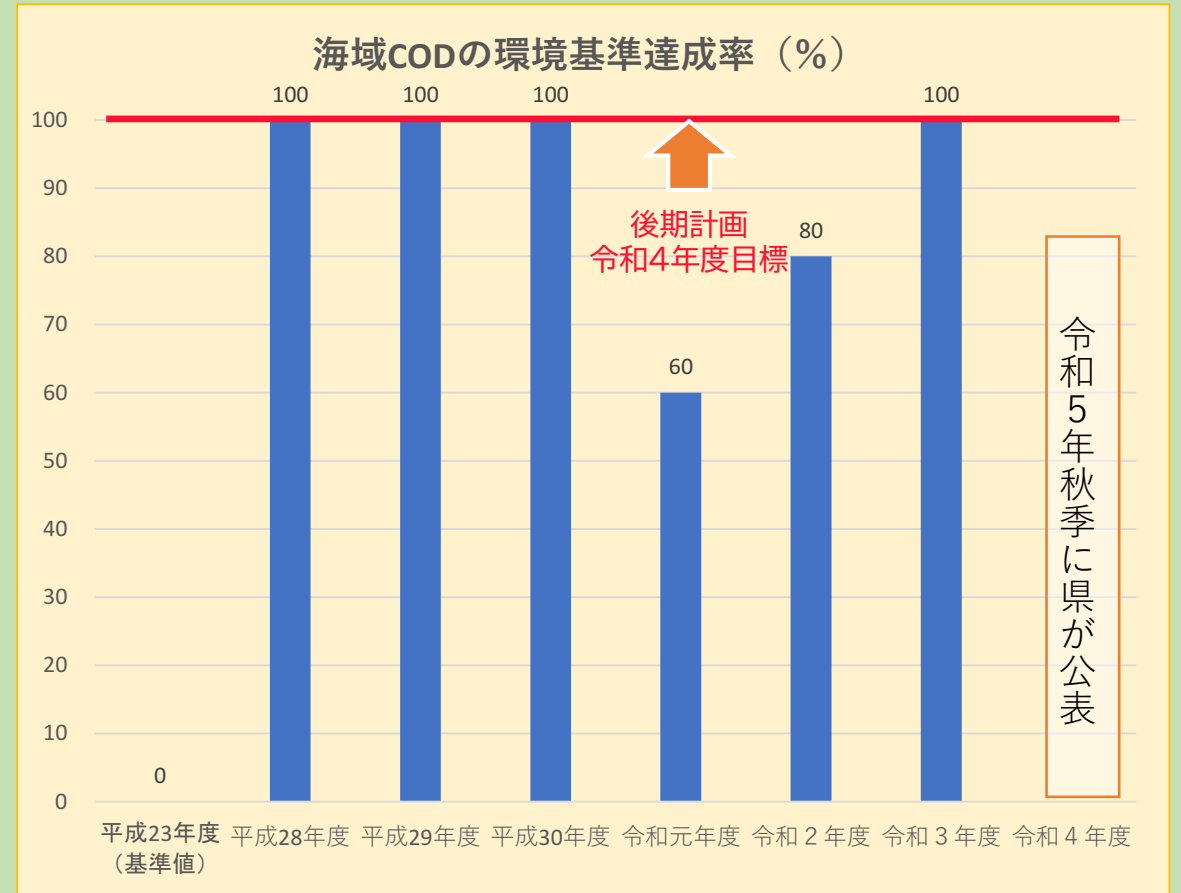
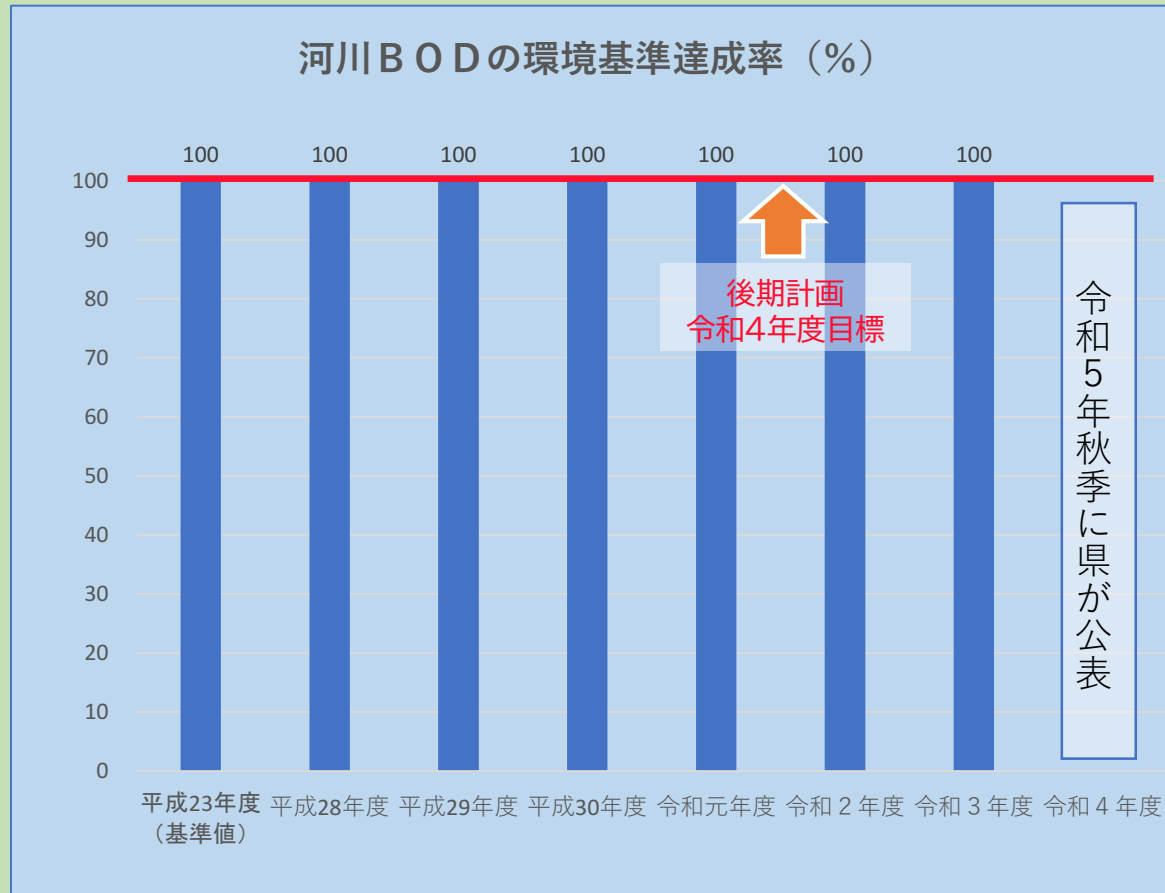
年度ごとの実績値グラフ

# ① 安全・安心なまちをつくる

## 1 水がきれいなまち

- ① 排水をきれいにする
- ② 水質を監視する

### 数値目標に対する実績グラフ



## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 排水をきれいにする

- ・公共柵※設置の随時受付(下水道課)  
公共柵を年間19件設置し、公共下水道の整備促進を図った。
- ・小型合併処理浄化槽の設置支援(下水道課小屋敷環境管理センター)  
年間446件の設置補助を行い、合併処理浄化槽の設置を支援した。
- ・公共下水道の未接続者への周知(下水道課)  
未接続者台帳の整備を行い、郵送・訪問での啓発活動を実施した。

#### ② 水質を監視する

- ・市内河川水質測定調査の実施(環境課)  
河川水質測定調査(四半期ごと27箇所・計4回)を実施し、河川の水質の監視に努めた。
- ・立ち入り調査等の実施(環境課)  
県と連携し事業所の立入検査を64回・64事業所(目標60回以上)行い、事業所排水の監視・指導を行った。
- ・水生生物調査の実施(環境課)  
環境調査の一環で、市内12水系を調査対象とし、底生生物を35地点、魚類を25地点にて実施した。

#### ・河川パトロール等の実施(河川課)

7～8月にかけて河川のパトロールを実施し、不法投棄物の有無の調査を行った。

#### ・環自協支部長会にて環境美化活動に関する啓発を実施(環境課)

市内38自治会で市内河川・水路の環境美化活動についての啓発を実施した。

※公共柵・・・家庭や事業所等の排水を1箇所を集め、

下水道管へ排水するための「ます」のことです。  
公共ますは公共下水道布設工事を行う際に官民境界から1メートル以内の宅地側に焼津市が設置し、維持管理を行います。



### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### 河川BOD・海域CODについて(環境課)

(評価)

令和4年度の基準達成率については、県の報告が例年9月～10月に公表されるため、結果が出ていないが、河川BODに関しては公共下水道の整備や合併処理浄化槽の普及促進が進んでいるため、概ね環境基準を達成できると見込んでいる。

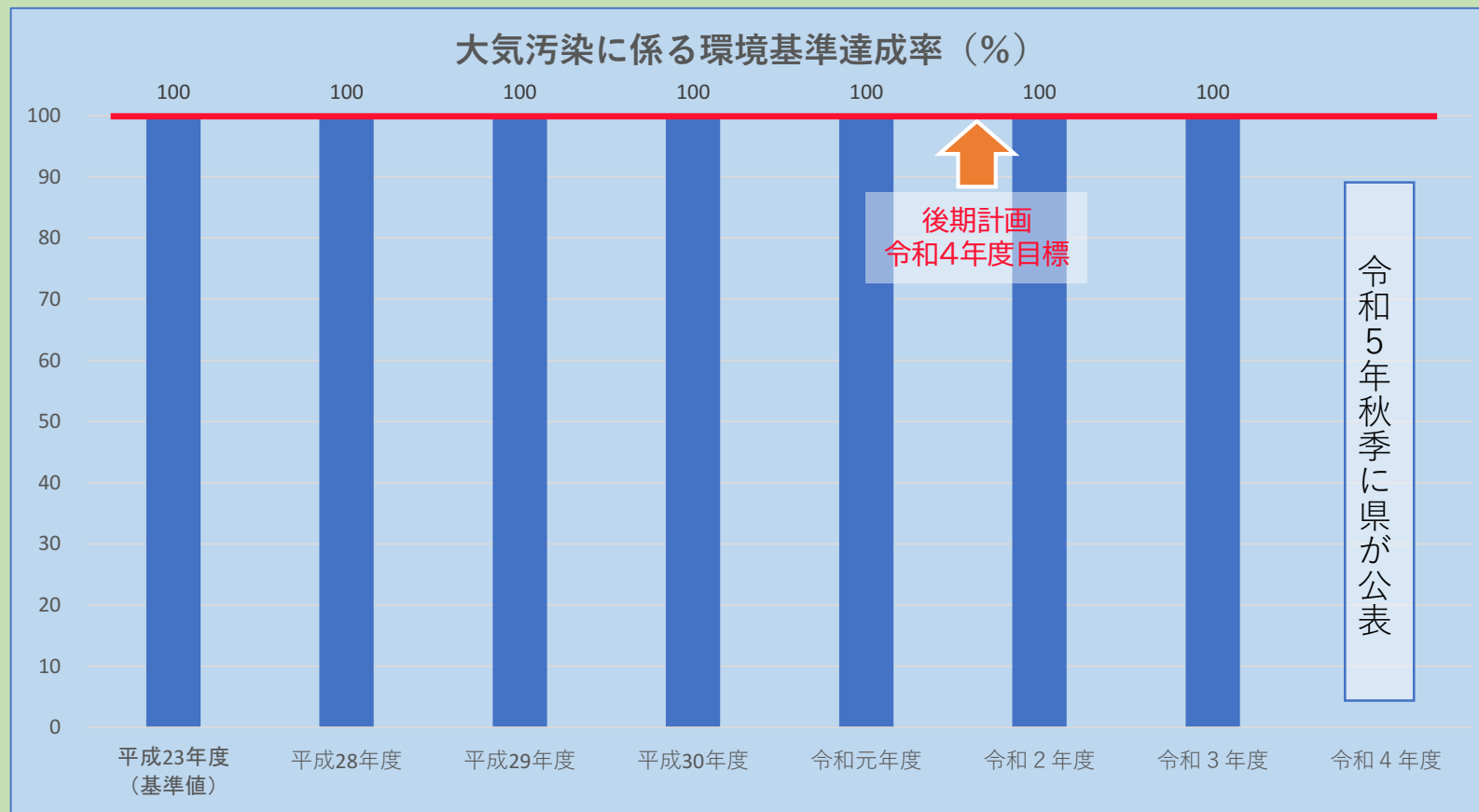
(改善点)

河川及び海域ともに、生活排水や事業者からの排水が流れ込んでいる。単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への設置替えを推進するとともに、定期的に事業者を訪問し、事業所の排水を監視・指導していく。

# ① 安全・安心なまちをつくる ② 空気がきれい静かなまち

- ① 大気汚染・悪臭への対策をする
- ② 騒音・振動への対策をする

## 数値目標に対する実績グラフ



## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 大気汚染・悪臭への対策をする

##### ・事業所への立入検査を実施(環境課)

県と連携して、規制対象事業所の立入検査を27回(目標15回以上)実施し、大気汚染発生源の監視・指導を行った。

また、事業所への立入検査を実施し、悪臭発生源の監視・指導を行った。

##### ・悪臭発生事業所への立入検査を実施(環境課)

11月に、悪臭調査事業所(7事業所)に対して、立入調査を実施し、監視・指導を行った。

##### ・低公害車導入の促進(出納室)

#### ② 騒音・振動への対策をする

##### ・事業所への立入検査を実施(環境課)

事業者等から発生する騒音に対する苦情に対し、発生源への調査・指導を行った。

##### ・アイドリングストップの実施・急発進の抑制などのエコドライブの推進(環境課)

庁内イントラネットにて環境教育情報として、ノーカーチャレンジ実施時にエコドライブのすすめを掲載した。市民へはホームページにて周知した。

##### ・公共工事等で発生する騒音・振動の低減

(道路課、河川課、農政課、都市整備課、住宅・公共建築課、区画整理課、教育総務課、水道工務課)

公共工事で使用する建設機械等について、低騒音・低振動型・排出ガス対策型の機械の導入を図り、騒音・振動の抑制に努めた。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### 大気汚染、悪臭、騒音・振動について(環境課)

(評価)

令和4年度の基準達成率については、河川、海域と同様に県の報告が例年9月～10月に公表されるため結果が出ていないが、県と連携して立入調査を行っており、概ね環境基準を達成できると見込んでいる。

(改善点)

近年は、生活型苦情(野焼き、敷地管理、動物など)が多くなってきている。

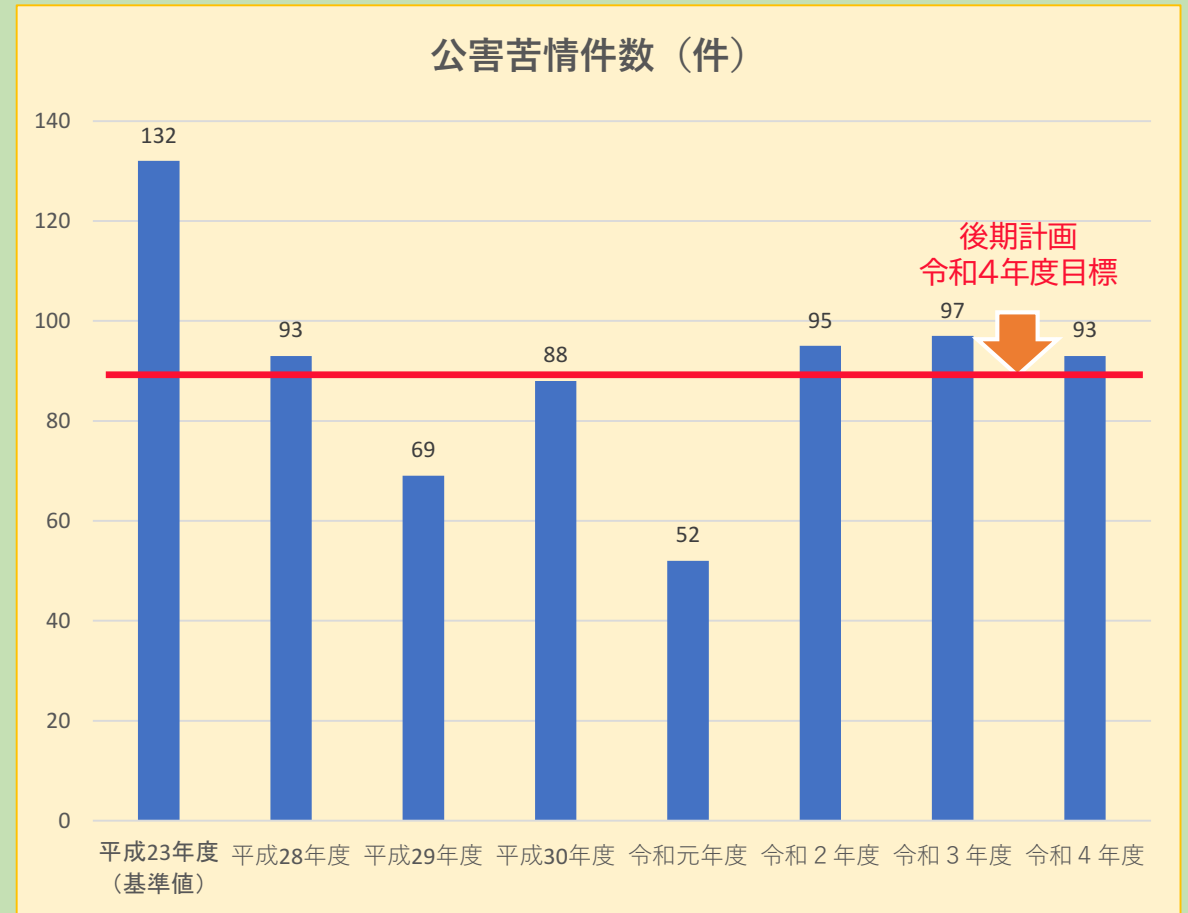
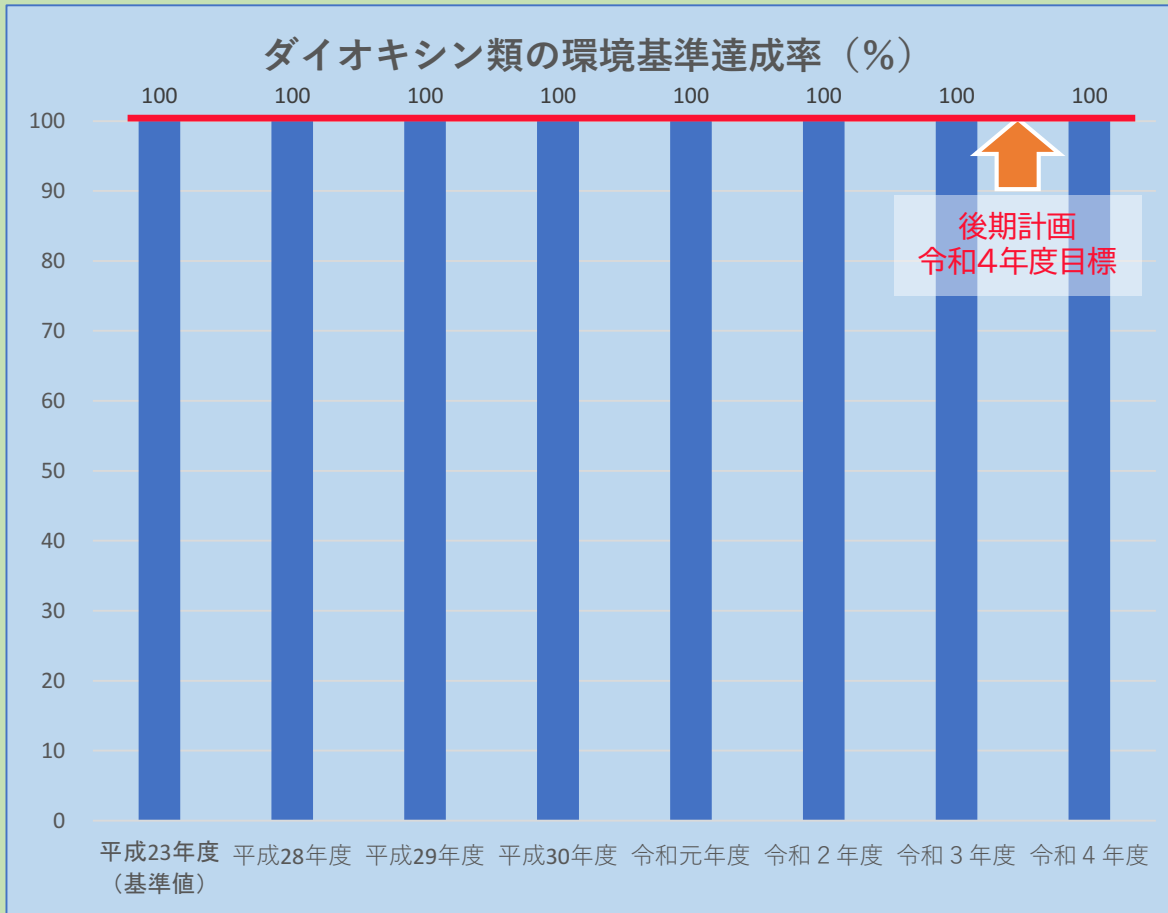
生活型苦情は法令の対象外となるケースが多く、原因者が特定できなかったり、禁止命令等をすぐに出せず改善できない場合が多いため、初動対応を迅速に行っていく。

# ① 安全・安心なまちをつくる

## 3 有害化学物質による汚染や公害のないまち

- ① 有害化学物質への対策をする
- ② 公害や生活に密着した苦情を未然に防ぐ

### 数値目標に対する実績グラフ





## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 有害化学物質への対策をする

##### ・大気中のダイオキシン類の調査を実施(環境課)

大気中のダイオキシン類の調査を10月下旬に実施し、有害化学物質の監視に努めた。

##### ・立入検査の実施(環境課)

県と連携して規制対象事業所等の立入検査を4回(4事業所)実施し、ダイオキシン類排出状況の監視・指導に努めた。

##### ・PCB保管状況の調査・把握(環境課)

公共施設のPCB保管状況を調査し、環境活動レポートに掲載した。

##### ・放射性物質や放射線量の測定及び結果公表(地域防災課)

焼津市消防防災センターで週1回、各公民館及び大井川港管理事務所月1回測定を行った。また、県が設置しているモニタリングポスト(大井川庁舎北)の測定結果について、市役所本庁舎・大井川庁舎で公表した。

#### ② 公害や生活に密着した苦情を未然に防ぐ

##### ・環境調査の実施(環境課)

市内の環境調査(大気・水質・騒音・悪臭など)を実施した。

##### ・公害苦情への速やかな対応・指導(環境課)

苦情に対しては随時対応し、苦情継続件数は23%(22/93件)であった。

##### ・犬・猫飼い方マナー説明会の実施(環境課)

説明会を16回実施した。また、動物愛護週間について広報やいづに掲載した。

##### ・適正な敷地管理に関する対応(環境課)

空き地の管理に係る苦情107件について、現地調査・指導を迅速に行い、適正な敷地の管理が行われるよう努めた。



### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### ダイオキシン類調査、公害に関する苦情について(環境課) (評価)

定期的な測定監視と環境調査及び県と連携した立入調査を行っているため、ダイオキシン類の環境基準達成率は100%を維持している。典型7公害に関する苦情は前年度より減少したが、目標を上回った。  
※典型7公害…大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭

#### (改善点)

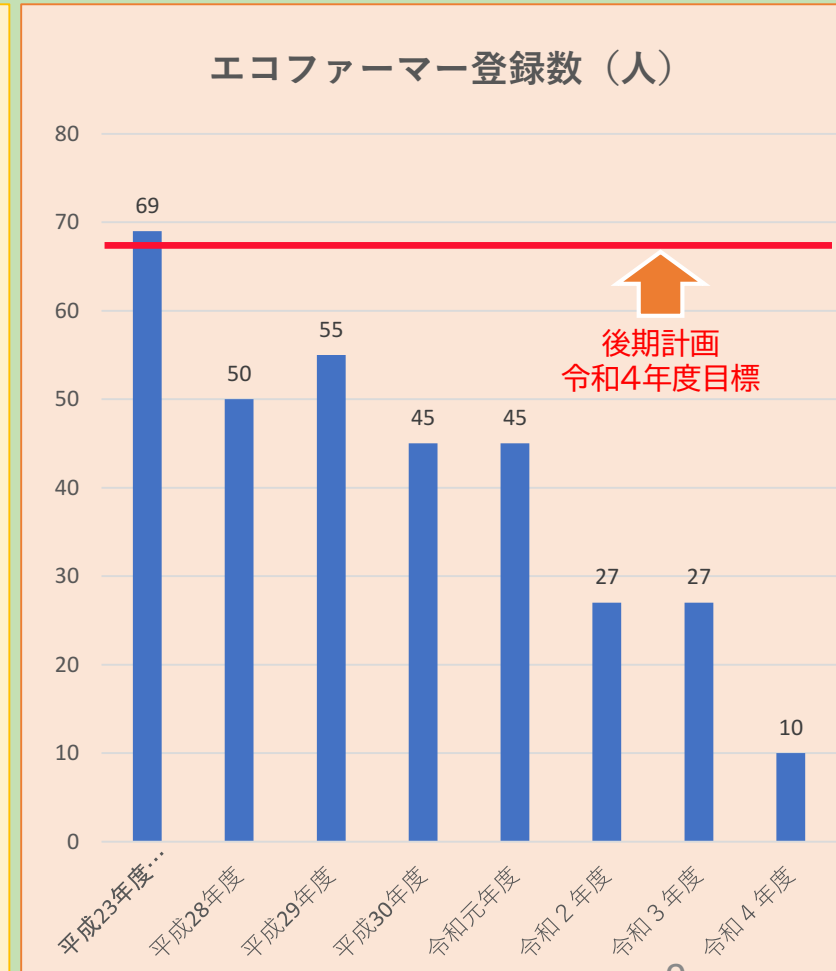
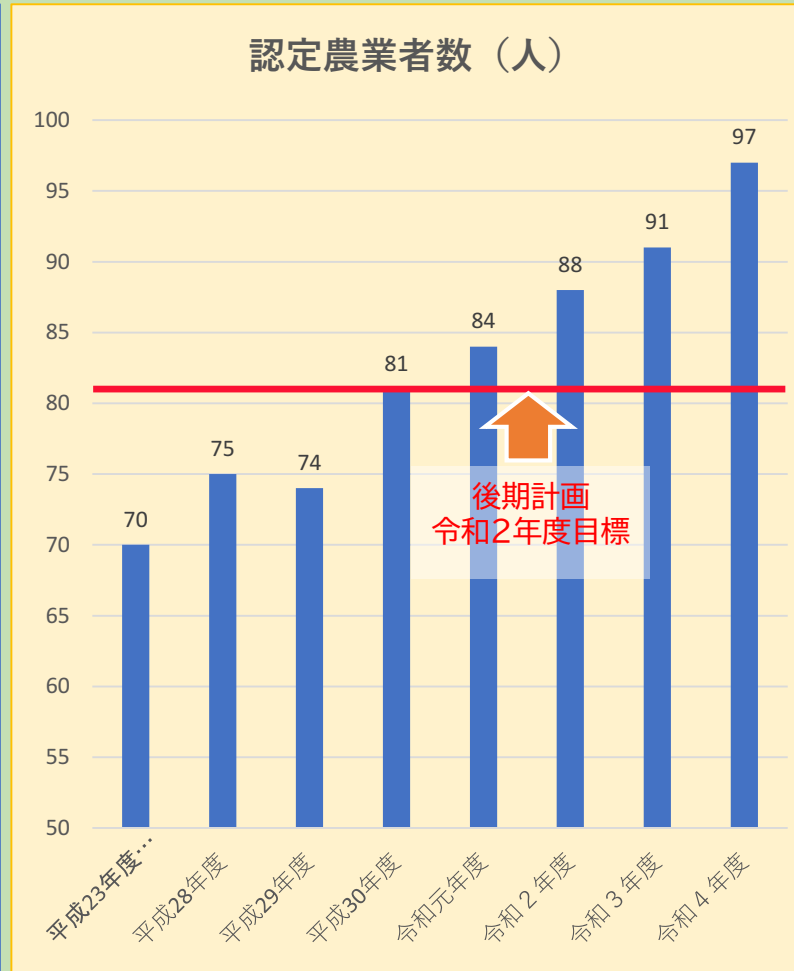
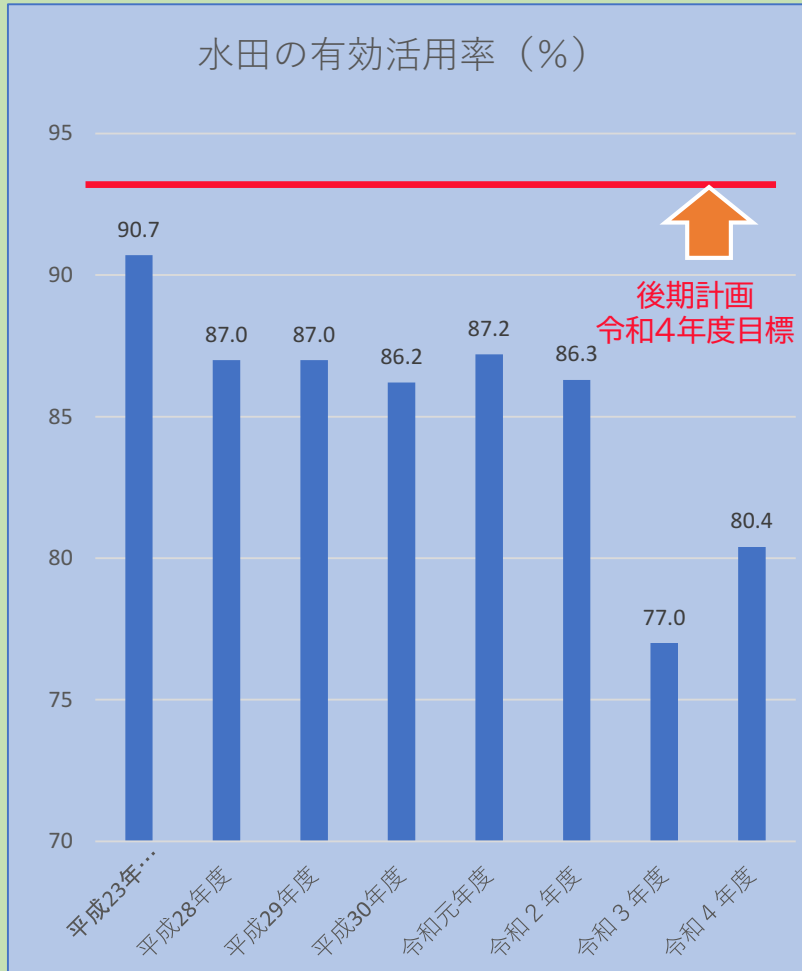
近年は、生活型苦情(野焼き、敷地管理、動物など)が多くなってきている。  
生活型苦情は法令の対象外となるケースが多く、原因者が特定できなかったり、禁止命令等をすぐ出せず改善できない場合が多いため、初動対応を迅速に行っていく。

## ② 自然共生社会をつくる

# 4 森林や農地を守るまち

- ① 森林を守る
- ② 農地を守る

### 数値目標に対する実績グラフ



## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 森林を守る

- ・高草山周辺の巡視活動を実施(農政課)  
森林保全と山火事防止のため、地元と市による巡視活動を実施した。

#### ② 農地を守る

- ・市民農園の整備・利活用の促進(農政課)  
市民農園の運営を支援した。市民農園の利用率は91.6%であった。
- ・エコファーマー制度と環境保全型農業の推進(農政課)  
環境保全型農業支援事業実施面積は、10haであった。
- ・農地の保全(農政課)  
農業振興地域整備計画の適正な管理のため、農用地からの除外申請に対する相談受付を実施した。
- ・農地・農村環境の保全(農政課)  
市内6団体(158.7ha)が農地や農村環境の保全活動を継続して実施した。
- ・農作物への被害防止(農政課)  
イノシシ58頭、アナグマ2頭、ハクビシン3頭を捕獲した。
- ・耕作放棄地の取組支援(農政課、農業委員会)  
地元及び市による巡視活動を実施、耕作放棄地解消面積は2.5haであった。また、農地パトロールの実施により荒廃農地を把握し、利用意向調査を行い、管理機構(農地のあっせん機関)への斡旋につなげた。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### 水田の有効活用について(農政課)

(評価)

経営所得安定対策による転作奨励を進めるとともに、農地中間管理事業による利用権設定を推進し、担い手への農地集積・集約、耕作放棄地解消の補助金交付や農地の適正管理指導による農地の有効利用を進めた。

(改善点)

農家の高齢化や後継者不足、離農等により、耕作されていない農地が増える中、やいづ農業支援センターや農地中間管理事業を活用し、より一層の担い手への利用集積・集約を推進する必要がある。

#### 認定農業者数について(農政課)

(評価)

経営改善計画の満了を迎える認定農業者の再認定及び新規認定農業者の掘り起し、認定を推進した。

(改善点)

認定農業者も高齢化する中で、再認定を辞退する事例も見受けられるが、青年就農者や経営改善への意識の高い農業者等を認定農業者へと促すなど、地域農業の担い手の更なる掘り起しが継続的に続けることが必要と考える。

#### エコファーマー登録数について(農政課)

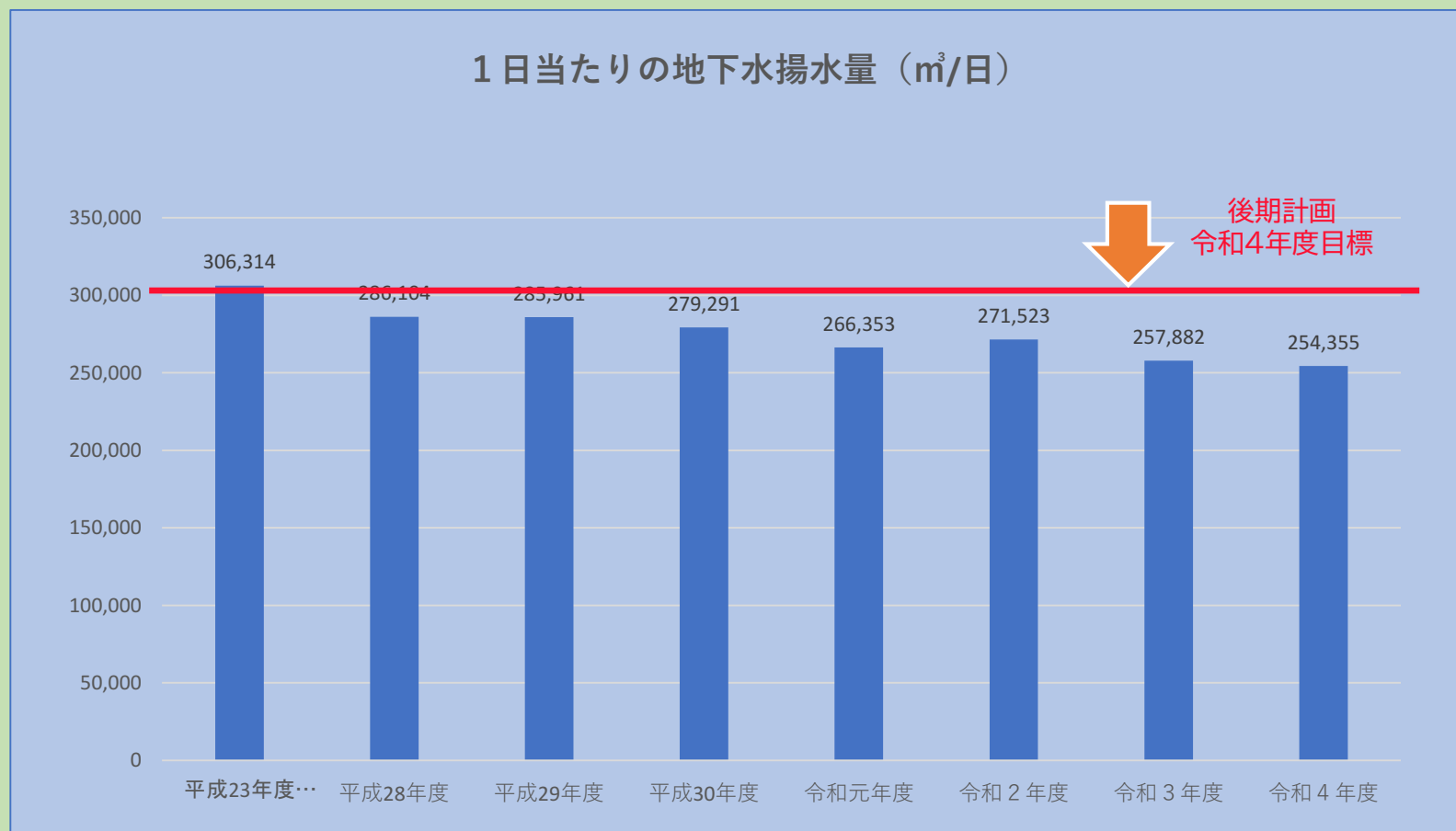
令和4年度に持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律の廃止に伴い、エコファーマー制度も廃止された。令和5年度より「みどりの食料システム法」に基づく新たな制度に移行する。

## ② 自然共生社会をつくる

# 5 河川・海岸と水資源を守る まち

- ① 河川・海岸を守る
- ② 水資源を守る

### 数値目標に対する実績グラフ



## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 河川・海岸を守る

##### ・海岸養浜の実施(大井川港管理事務所)

大井川港南防波堤上手側の堆積土及び航路堆積土砂を利用し、海上養浜65,811m<sup>3</sup>、陸上養浜6,164m<sup>3</sup>を実施した。

##### ・港湾清掃等の実施(大井川港管理事務所)

8月(企業47名と職員8名)と12月(企業50名と職員8名)に大井川港振興会会員の参加により、港湾清掃を実施した。また、飯淵・利右衛門海岸に漂着した流木を撤去した。

##### ・油流出等を想定した防災訓練の実施(大井川港管理事務所)

大井川港振興会は、自衛消防隊や志太消防本部、市防災部と連携し、11月14日に具体的な災害を想定した訓練を実施した。

##### ・海岸防災林の環境保全(農政課)

海岸林を保全するため、地元と市による巡視活動を実施した。

##### ・海岸線一帯の松林の保全(農政課)

薬剤散布を26.77ha実施した。

##### ・枯損状況の調査を実施(都市整備課)

令和4年2月の樹木診断結果を踏まえ、定期的にパトロールを実施した。

#### ② 水資源を守る

##### ・節水意識の啓発(環境課)

環境出前講座、アースキッズチャレンジ、親子水生生物教室等にて啓発を行った。

##### ・地下水の保全(環境課)

静岡県地下水条例に基づき、塩水化調査を12回実施し、地下水の保全に努めた。また、地下水採取量調査を令和5年1月に実施した。

##### ・海洋深層水に関する知識の啓発(漁港振興課)

深層水の知識向上のため、学習会を1回開催し、28人が参加した。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### (評価)

地下水の保全について、志太地域は昔から地下水量が豊富であるため、地下水を利用する企業が多く進出してきた。毎月の地下水の塩水化調査や地下水採取量調査等を行い、良好な地下水の確保に努めた。

#### (改善点)

長い海岸線を有するため、海岸林の保全や海岸清掃などを毎年定期的に行い、海岸地域の保全に努めていく。

## ② 自然共生社会をつくる

# 6 多くの生き物・自然と ふれあえるまち

- ① 動植物を守る
- ② 自然とふれあう

### 数値目標に対する実績グラフ





## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 動植物を守る

- ・傷病鳥獣の保護活動の実施(農政課)  
傷病鳥獣の保護を年間で5件行った。
- ・貴重な動植物の保護(文化振興課)  
旭伝院の松の消毒を実施した。
- ・空き地の管理指導を実施(環境課)  
空き地などで繁茂する外来植物の拡大を防ぐため、空き地の管理に係る申立に随時対応した。
- ・生物多様性の保全(環境課)  
生物多様性地域戦略策定について、国・県・他市町の情報収集し、策定の検討を行った。また、外来種についての情報収集を行った。

#### ② 自然とふれあう

- ・自然観察に関する講座の実施(東益津公民館)  
ふるさとジュニアカレッジを計9回開催し、参加者が自然とふれあい環境保全への意識を高める機会を提供した。
- ・高草山の公園やハイキングコースの管理・整備(農政課、観光交流課)  
高草山周辺の環境保全活動に延べ155人が参加した。  
また、地元団体と連携して、良好な維持管理を実施している。

#### ・花沢の里の環境保全(農政課、観光交流課)

花沢の里周辺の環境保全活動に延べ31人が参加した。また、地元団体と連携して、良好な維持管理を実施している。

#### ・海岸・河川等における環境美化活動の実施(河川課)

県と連携したリバーフレンドシップ制度を活用し、河川の美化活動を行った。また、瀬戸川等の環境管理業務を委託し、除草・消毒作業を行い、適切に管理した。

#### ・瀬戸川緑地の維持管理(都市整備課)

業務委託により、定期的にパトロールを行い、適正な管理を実施した。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点(環境課)

#### (評価)

各公民館において、自然体験などの子どもたちが自然とふれ合える行事や教室を積極的に行っている。令和4年度は新型コロナウイルス感染拡大状況を注視しつつ、感染症対策を講じ、親子水生生物教室(環境課)やふるさとジュニアカレッジ等を開催することができた。

#### (改善点)

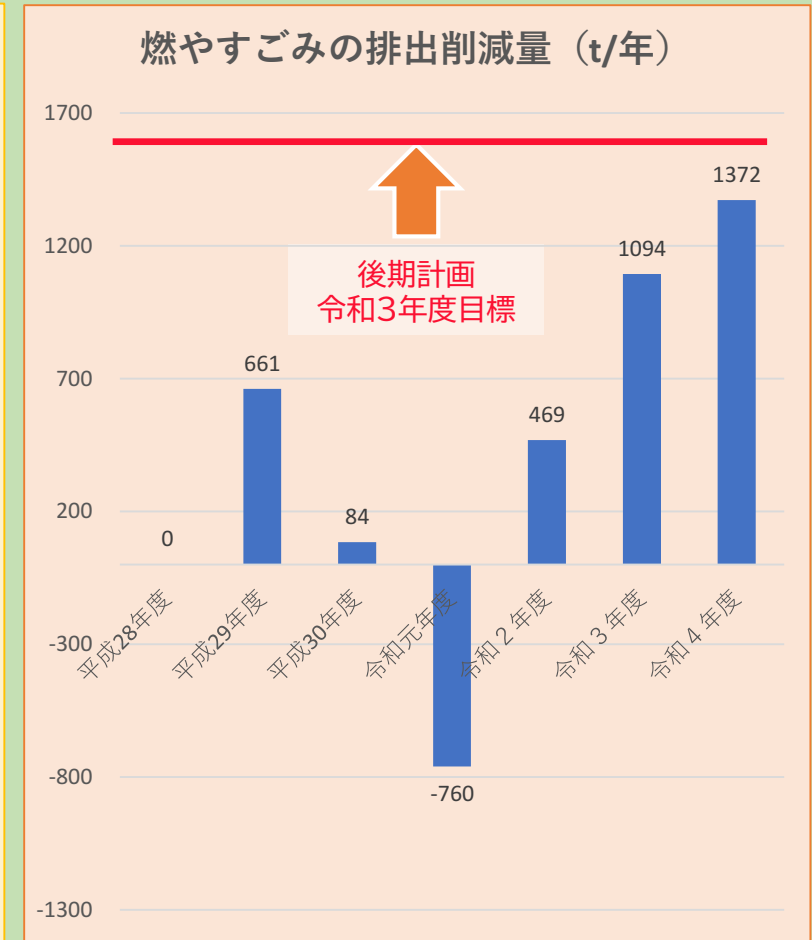
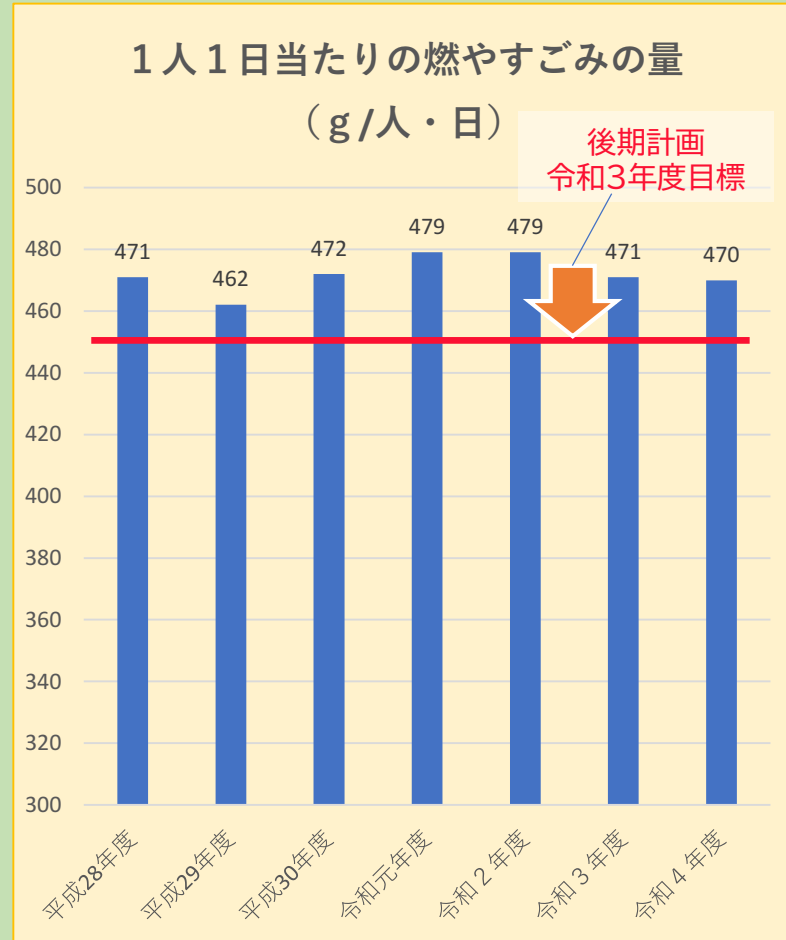
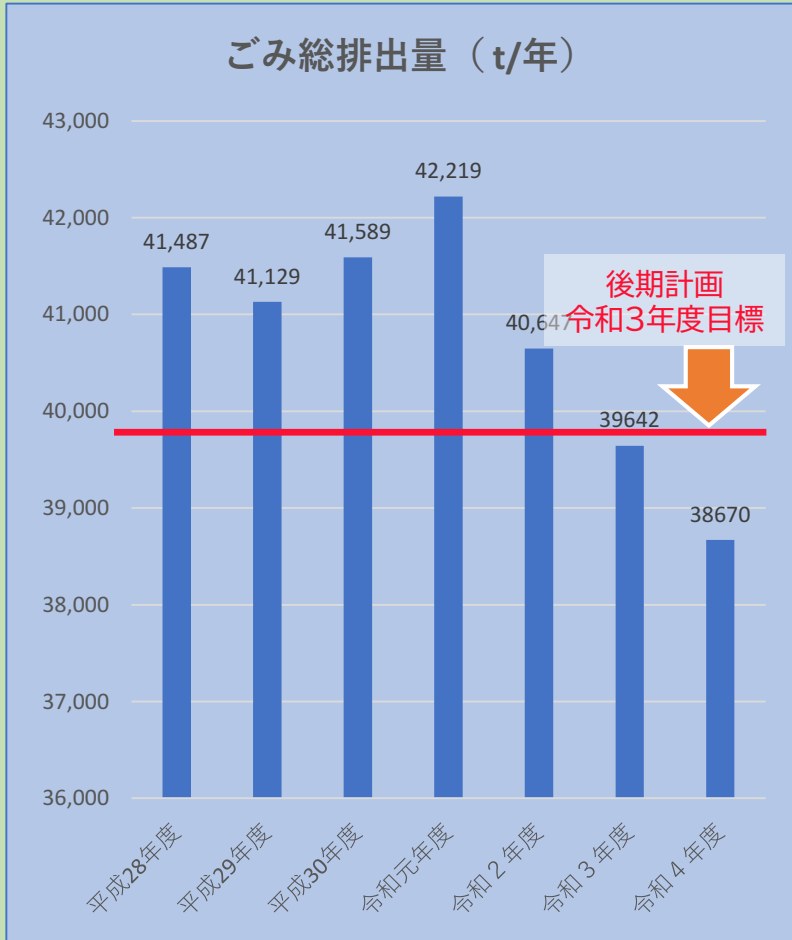
令和5年度より感染症対策としてのイベント等への制限がなくなったため、感染状況を注視しつつも、今後の自然観察会などの開催方法を検討し、自然とふれあえる機会を設けていく必要がある。

### ③ 循環型社会をつくる

## 7 廃棄物の少ないまち

- ① ごみを減らす
- ② 資源を再使用・再利用する

#### 数値目標に対する実績グラフ





## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① ごみを減らす

- ・公民館、小中学校での出前講座、地域でのごみ減量説明会の開催(環境課)  
年間で13回開催し、609人が参加した。
- ・雑がみ用紙袋ウェイクアップキャンペーンの実施(環境課)  
紙袋を約7,530枚回収し、各自治会やミニステーションへ配布した。
- ・ごみ減量につながるライフスタイルの啓発(環境課)  
やいづエコ市民塾でグリーンコンシューマー(地球にやさしい消費者)に関する講義を行った。
- ・小学生ごみ分別体験学習会の開催(環境課)  
市内の小学校で、ごみ分別体験及びパッカー車見学を7回実施した。

#### ② 資源を再使用・再利用する

- ・環境に配慮した製品の購入(出納室)  
環境に配慮した製品の購入は、100%であった。
- ・放置自転車のリサイクル及び資源化(くらし安全課)  
保存期間満了の放置自転車25台を自転車商組合に売却し、リサイクルした。
- ・容器の再利用・ごみの減量化・生ごみの資源化(学校給食課)  
学校給食の調理場で使用する洗剤の容器を、再利用のために納入業者に返却し、再利用率は100%であった。また、生ごみ処理機によりごみの減量化と生ごみの堆肥化を行い、堆肥化率は100%であった。
- ・剪定枝葉等のチップ化による再資源化(河川課、都市整備課、環境課)

- ・コンポストや生ごみ処理器等の普及の推進(環境課)  
コンポスト式生ごみ処理器購入補助金交付25件、黒土を利用した処理容器の配付119件。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### ごみ総排出量について(環境課)

(評価)

前年と比較して972tの減量となった。内訳として、家庭系ごみが829t、事業系ごみが143tの減量であった。

(改善点)

引き続き、さらなる減量に向けてごみ減量施策の実施やごみ分別の啓発を行っていく必要がある。

#### 1人1日当たりの燃やすごみの量について(環境課)

(評価と改善点)

前年度より排出量は減少した。排出されるごみの中でも組成比率の高い生ごみの家庭処理を促進させるため、生ごみ減量施策を実施し、更なる減量化を図っていく必要がある。

#### 燃やすごみの排出削減量について(環境課)

(評価)

令和4年度は、家庭系・事業系ともに減少した。

(改善点)

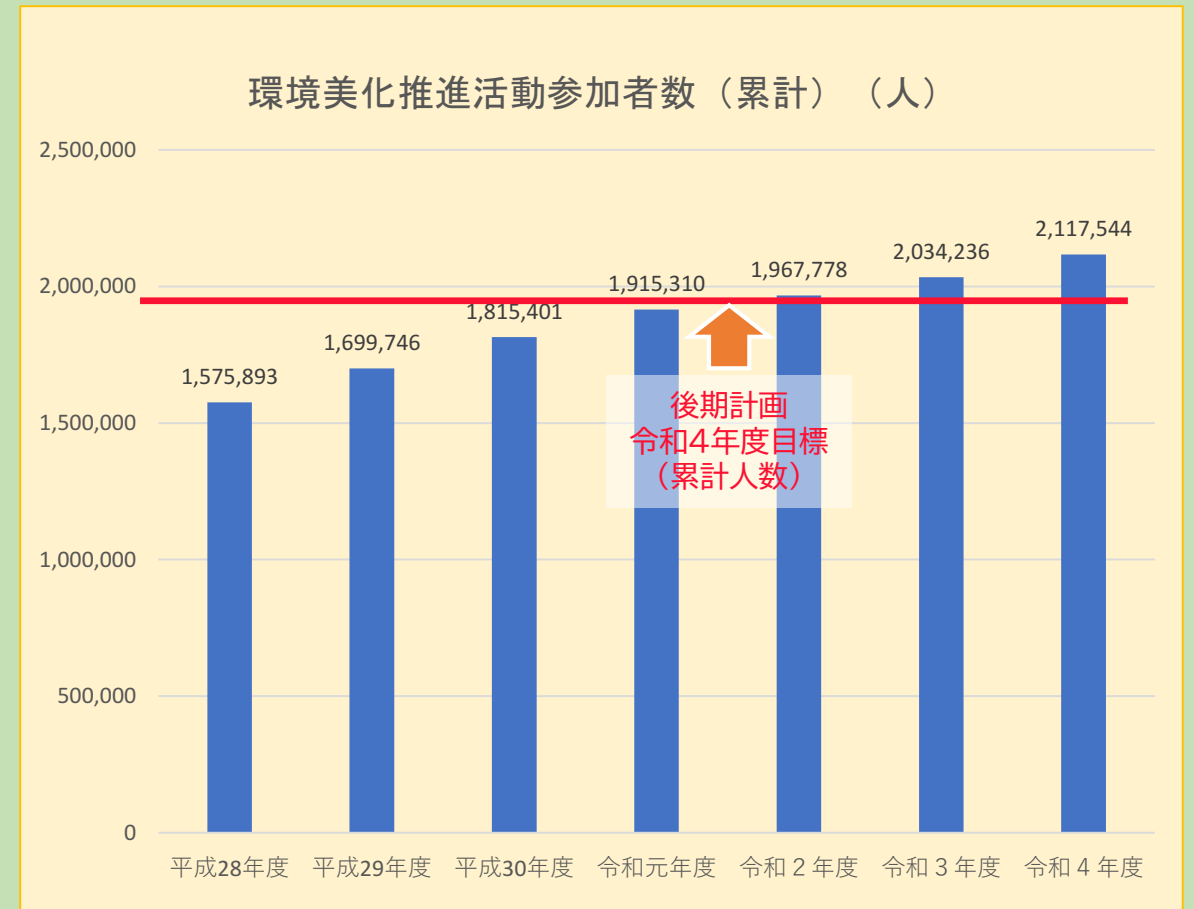
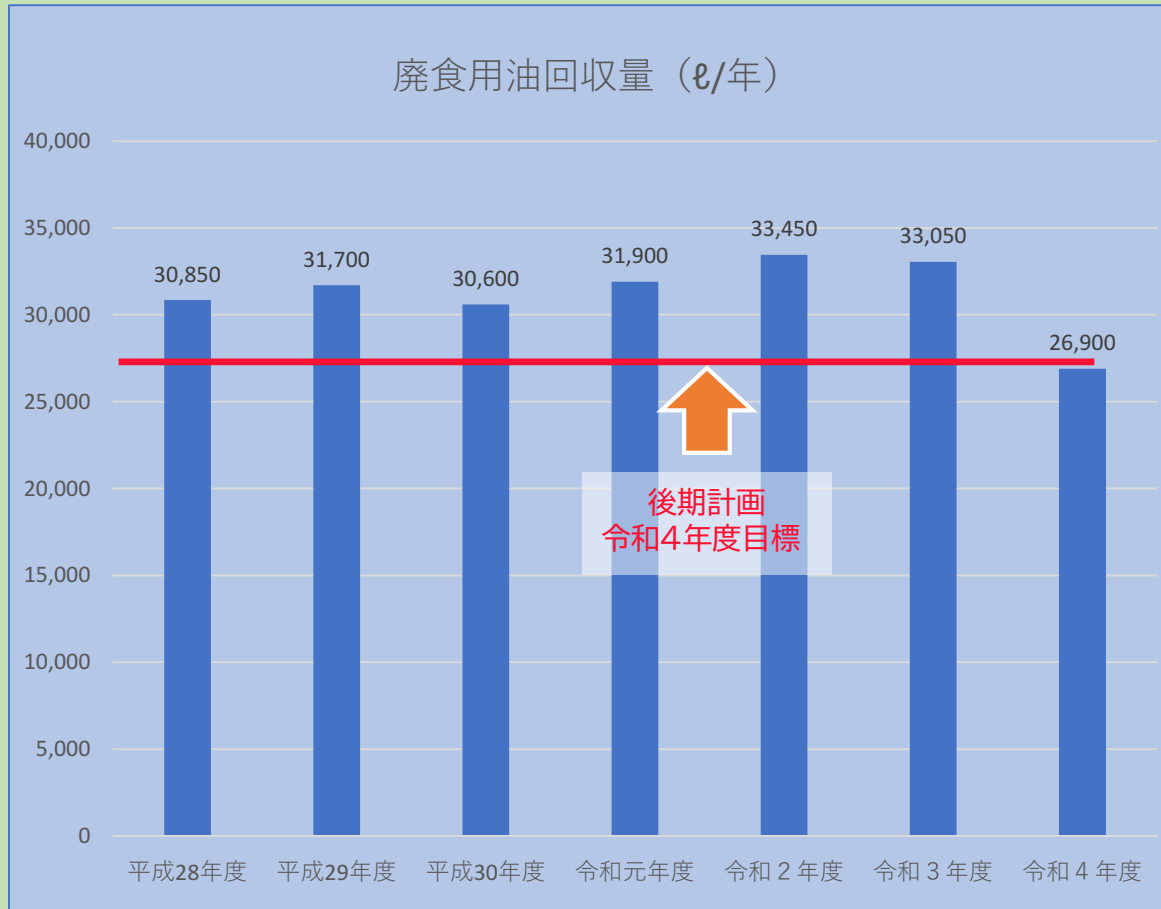
さらなる減量化に向け、引き続きごみ減量に向けた施策の実施・啓発活動を行っていく必要がある。

### ③ 循環型社会をつくる

## 8 廃棄物が適正に処理されるまち

- ① 分別回収して資源化する
- ② 廃棄物処理を適正に行う
- ③ 環境美化を推進する

### 数値目標に対する実績グラフ



## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 分別回収して資源化する

- ・古紙奨励金の交付(環境課)  
古紙回収奨励金を交付した。
- ・ミニステーションの適正運営(環境課)  
市内3か所で開設しているミニステーションで、資源物を1,026トン回収した。
- ・ごみの分け方冊子の発行(環境課)  
分別した家庭ごみ・資源物の処理方法をごみの分け方冊子に掲載し、全戸配布した。ホームページにも掲載した。
- ・ごみの分別について周知(環境課)  
アース・キッズチャレンジや出前講座、やいづエコ市民塾で周知した。

#### ② 廃棄物処理を適正に行う

- ・建設発生土の有効利用など(道路課、河川課、都市整備課、区画整理課、水道工務課、住宅・公共建築課)  
発注工事において、建設発生土や建設廃棄物の再資源化を促進した。また、土質改良土を設計計上し、埋戻材として使用することにより建設発生土処分量を抑制した。
- ・下水道汚泥の資源化(下水道課)  
排出汚泥の全量2,451.65tをセメント材料や肥料化するものとして資源化した。
- ・事業者への廃棄物の適正な処理の指導(環境課)  
不適切な処理をしている事業者11件に対し、通知による指導を実施した。

#### ③ 環境美化を推進する

- ・不法投棄対策の実施(環境課)  
不法投棄監視員による不法投棄物の回収・監視を強化し、不法投棄の抑制に努めた(年間243件)。
- ・海岸巡視員による海岸の環境美化活動を実施(河川課)  
海岸巡視員がごみ等の回収作業を行い、環境美化に努めた。
- ・やいづビーチクリーン大作戦を実施(環境課)  
11月27日にビーチクリーン大作戦を実施し、市民2,921人が参加。
- ・マイクロプラスチック問題等の周知(環境課)  
やいづエコ市民塾でマイクロプラスチック問題について講義を行い、プラスチック等の適正な利用について啓発した。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点(環境課)

#### (評価)

河川清掃及びまちきれ清掃の参加者は83,308人で令和3年度と比較し、20,015人増加した。コロナ禍における行動緩和がなされたことに伴い増加したと思われる。

また、ビーチクリーンにおいては、10会場にて開催した。(実績:2,921人)

#### (改善点)

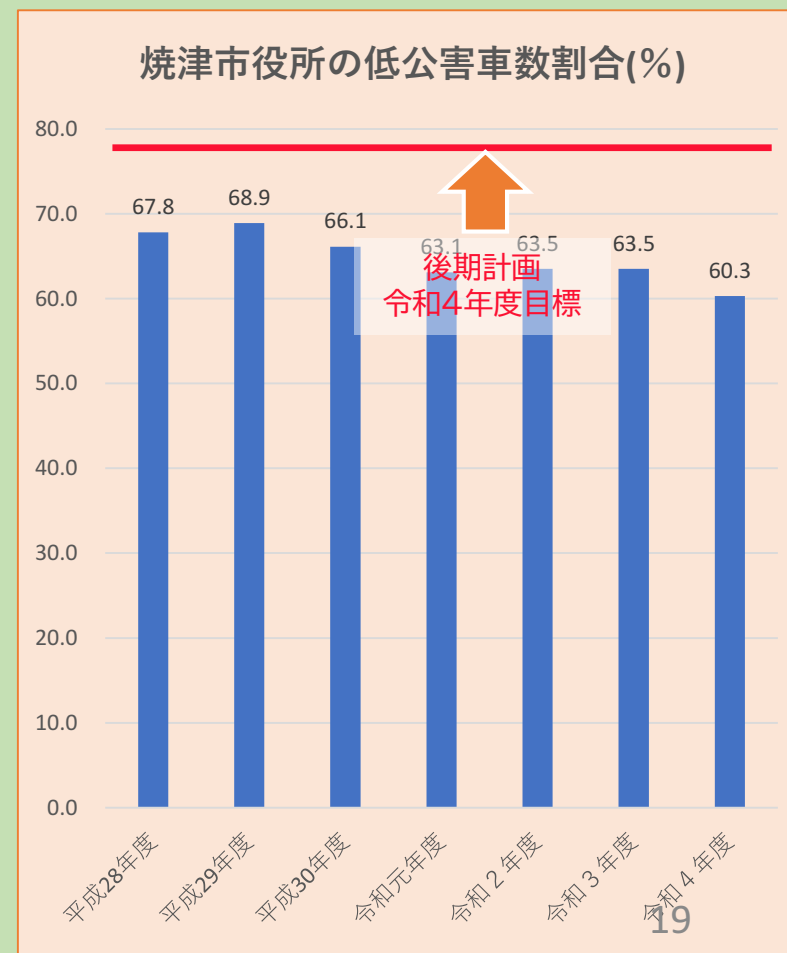
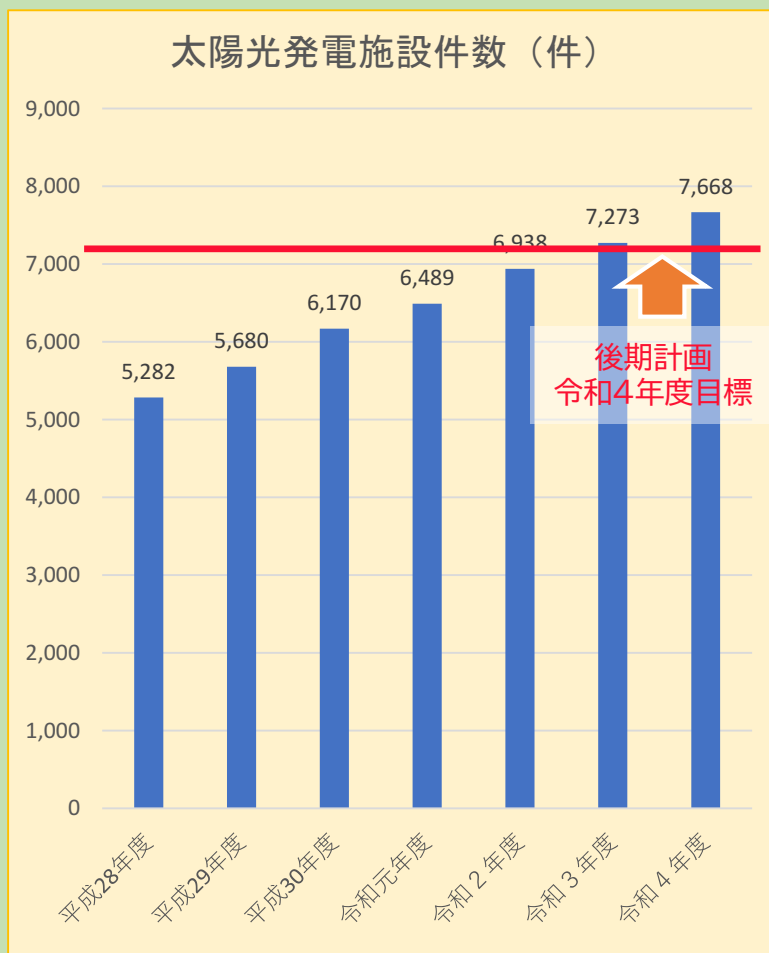
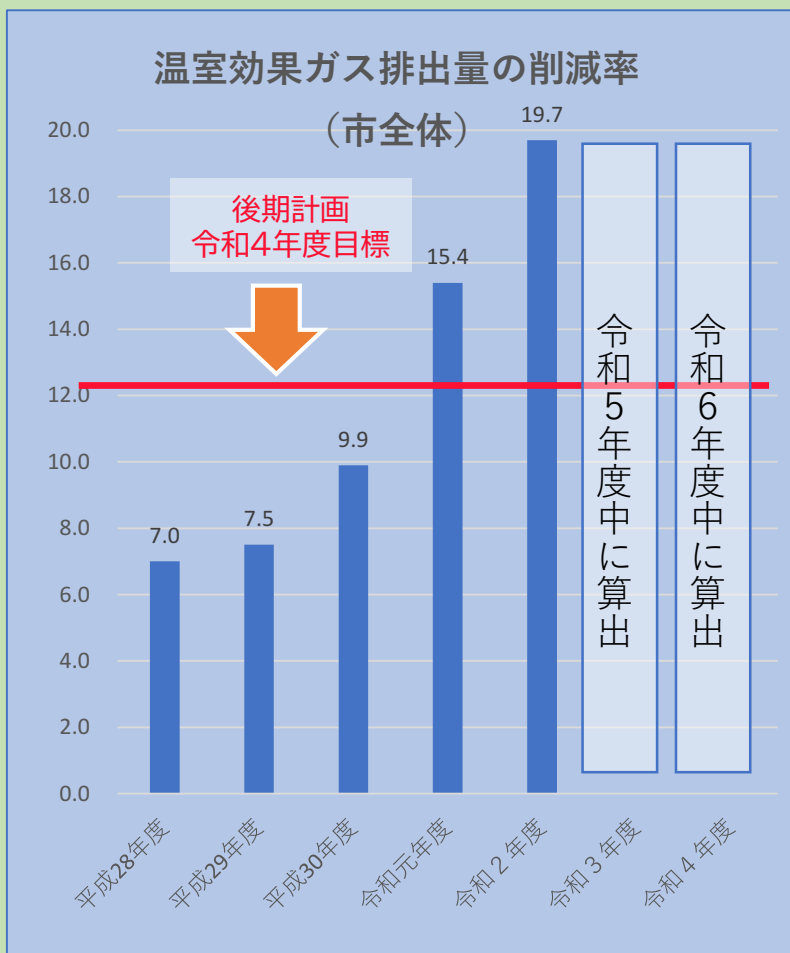
廃食用油について、実績減の要因がわからないため分析する必要がある。今後、ごみ減量説明会や分別啓発活動等を通して積極的に分別回収をPRする必要がある。

# ④ 低炭素社会をつくる

## 9 エネルギーを有効利用するまち

- ① 地球温暖化・エネルギー対策を総合的に進める
- ② 再生可能エネルギーを使う
- ③ 産業・家庭・業務その他部門の省エネルギーを進める
- ④ 運輸部門の省エネルギーを進める

数値目標に対する実績グラフ



## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 地球温暖化・エネルギー対策を総合的に進める

- ・地球温暖化防止実行計画の推進(環境課)
- ・フロンガス類の適正処理等についての啓発(環境課)  
エコアクション21更新審査の結果に基づき、職員へのさらなる周知のため、参考データと併せて通知した。

#### ② 再生可能エネルギーを使う

- ・家庭用再生可能エネルギー等の導入支援(環境課)  
環境負荷の少ない再生可能エネルギー等の利用促進のため、住宅用太陽光発電システム等補助を134件、住宅用新エネルギー機器設置補助(エネファーム)を5件交付決定した。
- ・再生可能エネルギー普及促進のための意識啓発(環境課)  
広報やいづやホームページにおいて、再生可能エネルギーの導入を促進するため、補助金について周知した。

#### ③ 産業・家庭・業務その他部門の省エネルギーを進める

- ・地球温暖化防止やクールチョイスの啓発(環境課)  
6月の環境月間に合わせ、ホームページ及び広報やいづに、環境月間についての記事を掲載した。
- ・環境に配慮した建築物の推進(建築指導課)  
建築物省エネ法基準に適合する届出を16件、CASBEE静岡の届出を6件受理し、長期優良住宅として253件の認定を行った。
- ・汐入下水処理場の設備更新に伴う省エネ化(下水道課)  
搬出汚泥量が前年度(2,378.55t)と比較し73.10t増加した。また水処理機器の更新等により電力使用量が32,092kWh減少した。

- ・照明灯取替工事でLEDの設置(道路課)  
既設の道路照明灯を水銀灯からLED灯に変更した。(1件)

#### ④ 運輸部門の省エネルギーを進める

- ・公共交通機関の利用促進(道路課)  
ホームページや広報紙、イベントでの啓発や、時刻表の配布などにより、自主運行バスの利用促進を図った。
- ・ノーカーチャレンジの実施(環境課)  
市役所の職員が、車を使わずに自転車や徒歩などで通勤するノーカーチャレンジを実施した。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### 太陽光発電システム等設置事業補助金について(環境課)

(評価)

住宅用太陽光発電システムの補助申請件数が減少しており、令和4年度は44件であった。前年度と比較して、12件増加した。

住宅用リチウムイオン蓄電池システムへの補助申請件数は86件となり、前年度より11件減少した。

令和4年度より新設したV2Hシステムへの補助申請件数は4件であった。市内の個人及び事業所を合わせた太陽光発電施設の件数は、7,668件である。

(改善点)

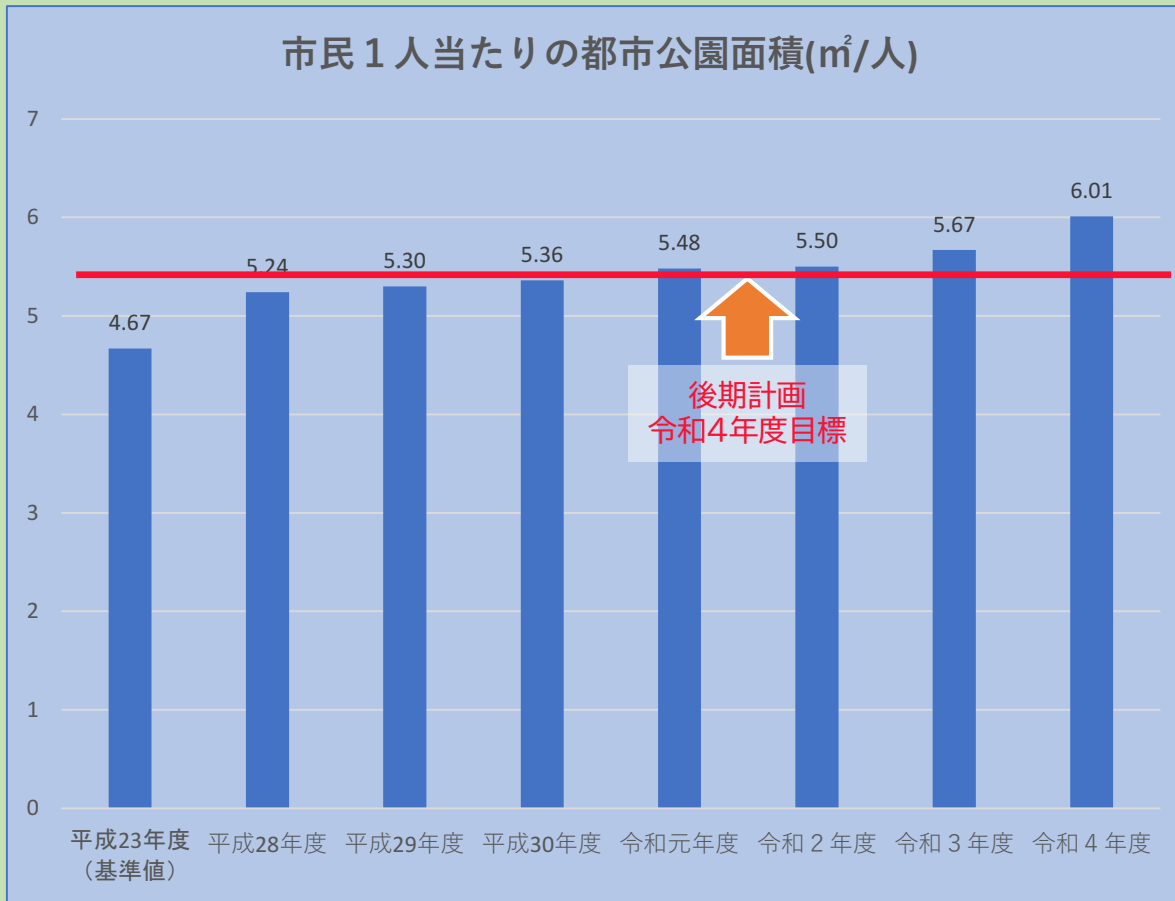
今後もホームページや広報やいづ、焼津市公式LINEなどを活用して、再生可能エネルギー等の普及促進を図る。

## ④ 低炭素社会をつくる

# 10 低炭素な交通と緑豊かなまち

- ① 低炭素な交通にする
- ② 緑地を増やす

### 数値目標に対する実績グラフ





## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 低炭素な交通にする

##### ・乗合タクシーの運行(道路課)

大井川地区及び大島三和地区において、予約型乗合タクシーの運行を開始した。

#### ② 緑地を増やす

##### ・みどりの祭典等で緑化活動の推進(都市整備課)

みどりの祭典、公民館祭りにおいて苗木を無料配布し、緑化を推進した。

##### ・公共施設で花壇の植え付けや整備を実施(東益津公民館、大村公民館、大富公民館、焼津公民館、小川公民館、港公民館、豊田公民館、大井川公民館、和田公民館)

住民のグループなどと協働して花壇の手入れや花苗・球根等の植え付けを実施し、定期的に花壇の整備を行い、緑化を推進した。

##### ・レンゲの種子の配布(農政課)

農協を通じて農家へレンゲの種子780kg分を配布し、花の栽培による景観形成及び地力増進を図った。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### 都市公園について(都市整備課)

##### (改善点)

今後も潮風グリーンウォークの整備や会下ノ島石津土地区画整理事業の進捗に合わせた公園整備等により、公園面積を増やしていくこととする。



◀潮風グリーンウォーク

#### 生け垣植樹について(都市整備課)

##### (評価)

生け垣植樹本数は、新築家屋建築件数に影響され、また散水や剪定等の維持管理を要することから、近年では申込件数が減少傾向である。

##### (改善点)

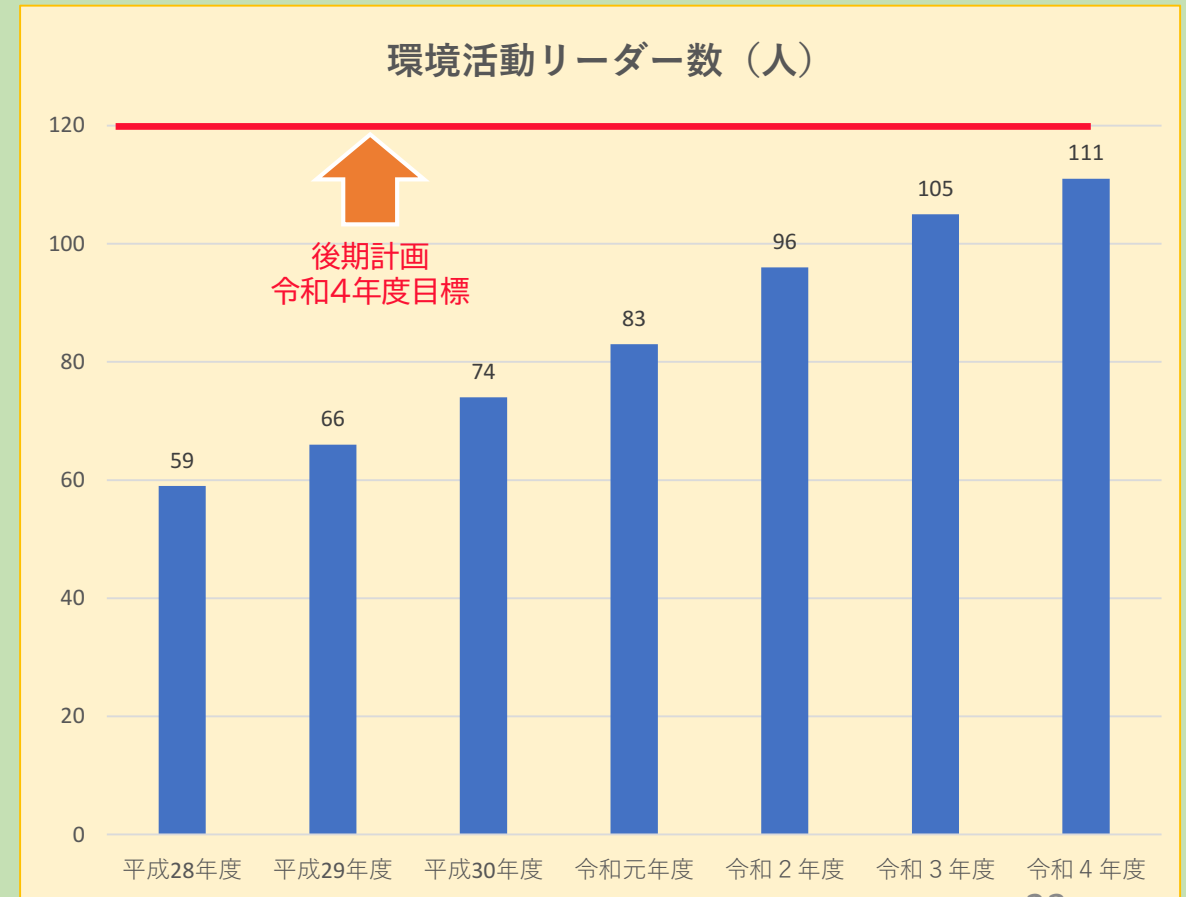
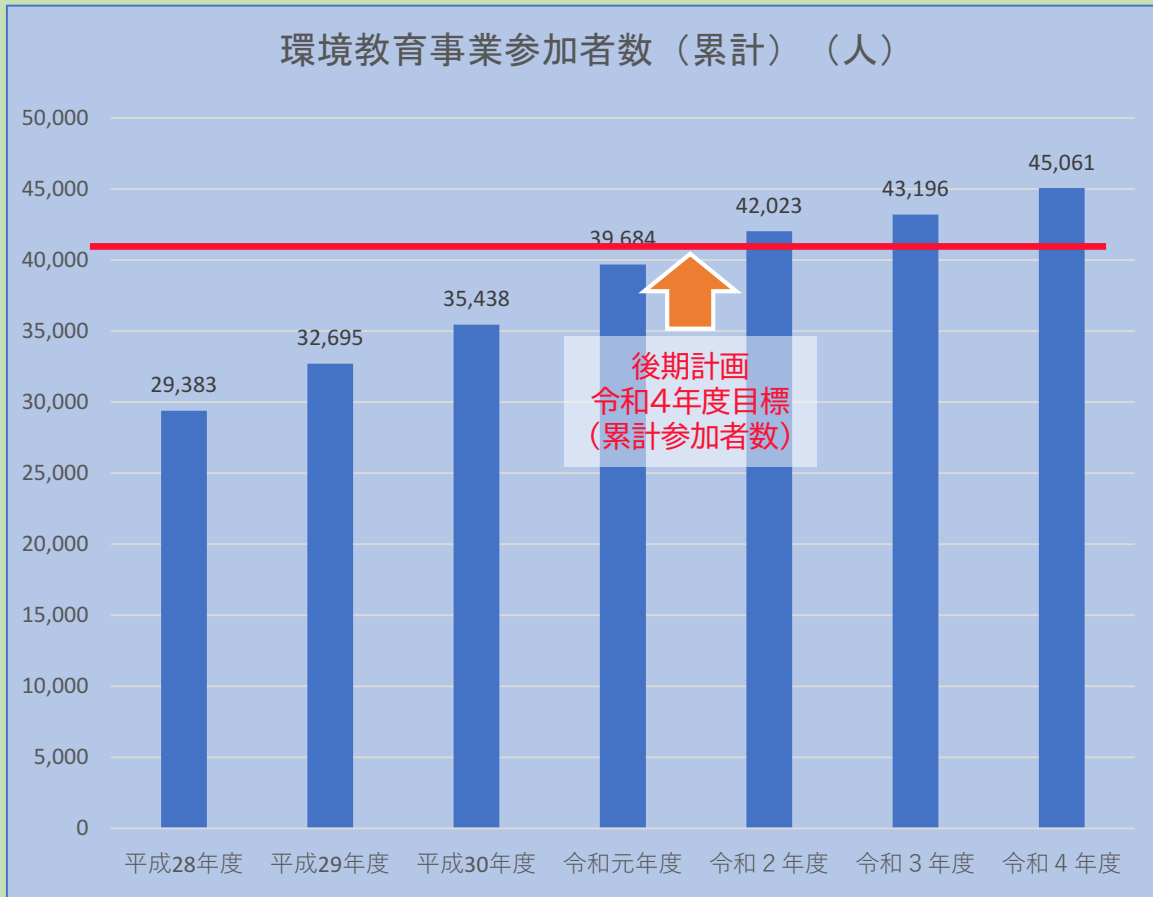
近年頻発している地震におけるブロック塀倒壊被害の事例を鑑み、既存ブロック塀撤去と併せ、生け垣による潤いのある緑のまちづくりについて、より一層PRしていく。

⑤ 統合的に取り組みを進める

# 11 環境を知り・学び・活動する まち

- ① 環境教育・環境学習を行う
- ② 環境情報を充実させる
- ③ 参加・協働による環境保全活動を活発にする

## 数値目標に対する実績グラフ





## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 環境教育・環境学習を行う

##### ・環境活動リーダーやごみ減量サポーターの養成(環境課)

やいづエコ市民塾を全5回のカリキュラムで実施し、環境活動リーダーを養成した。また、ごみ減量サポーター養成講座を6回開催した。

##### ・小学生を対象としたアース・キッズチャレンジを実施(環境課)

子どもたちが家庭のエコリーダーとなることを目的として地球温暖化防止を啓発するため、県と静岡県地球温暖化防止活動推進センターと連携してイベントを実施した。

9月に黒石小、10月に大井川西小で開催した。

##### ・公民館での自然観察会や環境関連講座の実施

(焼津公民館、小川公民館、東益津公民館、大村公民館、大井川公民館)

毎年開催しているふるさとジュニアカレッジや瀬戸川ウォーキング(可燃ごみ収集量13kg)、ミカン狩り体験などを開催。また、高齢学級や女性学級にて環境出前講座を開催した。

##### ・上下水道施設の見学会の実施(水道総務課、下水道課)

夏休み親子水道施設等見学会を開催し、水道水ができる仕組みの説明や大井川環境管理センターの見学を行った。(水道総務課)

汐入下水処理場にて公共施設見学会を行った。(下水道課)

#### ② 環境情報を充実させる

##### ・水生生物マップの配布(環境課)

子どもたちが環境に興味を持つよう、市内の河川等の水生生物の分布を示したマップを市立小学校の4年生全員に配布した。

#### ③ 参加・協働による環境保全活動を活発にする

##### ・環境活動リーダーによる出前講座の実施(環境課)

市と環境活動リーダーが協働して環境教育の輪を広げていくため、環境活動リーダーに講師を依頼した出前講座を延べ5回行った。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### 環境活動リーダーの育成について(環境課)

(評価)

環境活動リーダーを育成する講座として、やいづエコ市民塾を開講しており、ここ数年は受講申し込み者数が伸び悩んでいたため、市内の大学や公民館、図書館で広く周知を行った。令和4年度の受講生は10人で、全員が環境活動リーダーとして登録された。

リーダーとなった方は、水生生物教室やアース・キッズチャレンジなど積極的に協力いただいている。また、令和4年度は、環境活動リーダーに、地球温暖化防止の出前講座の講師を担っていただくなど、活動の場が増えている。

(改善点)

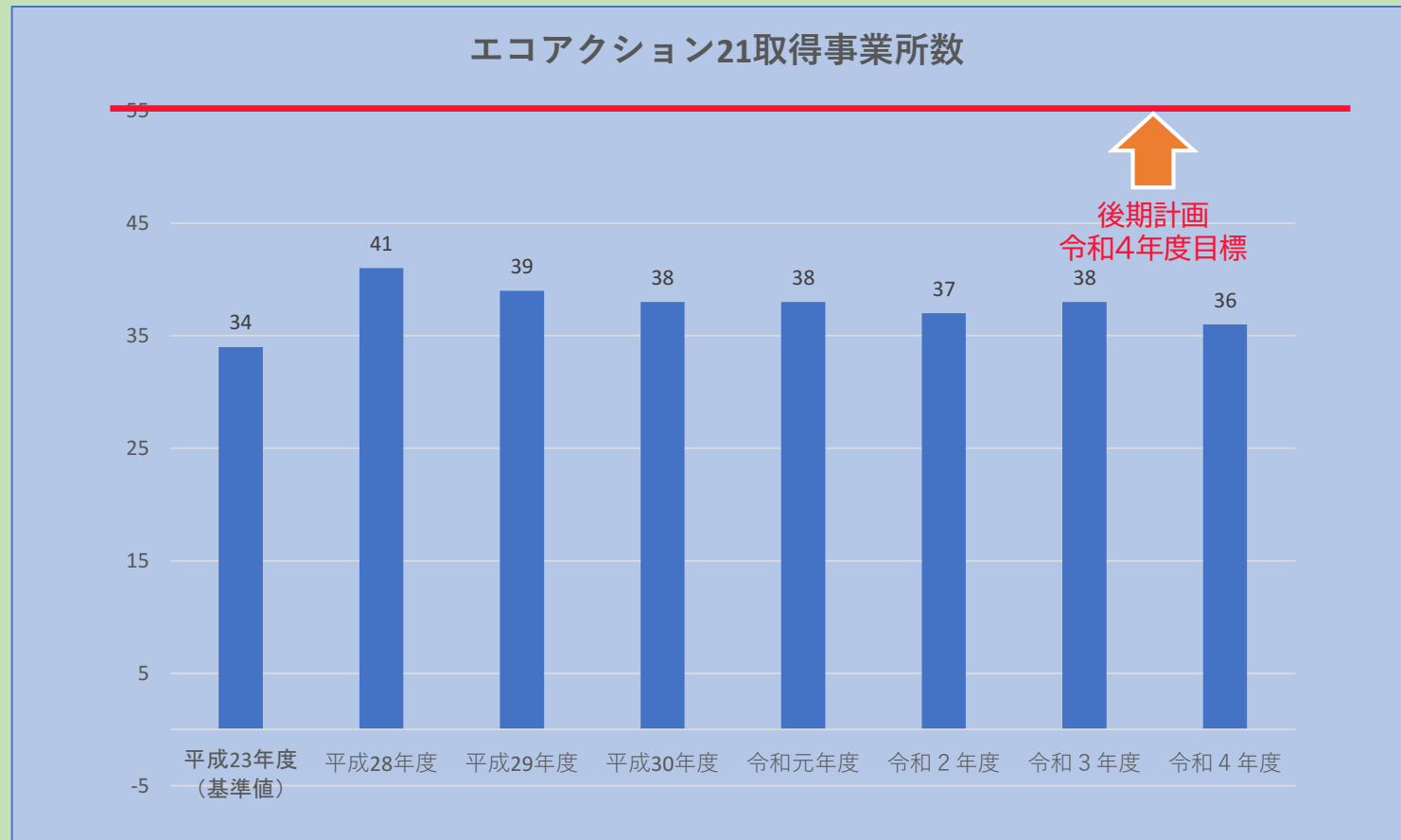
やいづエコ市民塾の参加者を増やして、環境活動リーダーを育成するため、広く周知を行う。また、「環境活動リーダー」というと責任を重く感じてしまう方もいるため、活動内容についても分かりやすく説明するように努める。

⑤ 統合的に取り組みを進める

# 12 環境と経済が両立するまち

- ① 事業活動に環境配慮を織り込む
- ② 環境に配慮した農業・漁業・観光を行う
- ③ 焼津市の特性を生かした環境ビジネスを育成する

## 数値目標に対する実績グラフ



## 数値目標に対する実績

### 令和4年度の主な取組内容

#### ① 事業活動に環境配慮を織り込む

- ・エコアクション21認証取得支援セミナーの開催(環境課)  
 (一社)静岡県環境資源協会に講師を依頼し、市内の事業所を対象としたエコアクション21認証取得事業の説明会を開催し、1社が参加し、全5回の課程を修了した。
- ・グリーン購入基本方針の策定(環境課)  
 庁内のグリーン購入を促進するため、「焼津市グリーン購入基本方針」及び「重点調達品目・調達目標」について職員に周知した。

#### ② 環境に配慮した農業・漁業・観光を行う

- ・学校給食で地元の食材を使用(農政課、学校給食課)  
 農産物の地産地消により食育を推進するため、学校給食で焼津産の米やキャベツを使用した。
- ・地場産業と一体となった体験型観光の推進(観光交流課)  
 各種団体が開催する体験型観光コンテンツのPRを行った。また、観光協会の新たな体験型コンテンツのモニターツアーの支援を行った。

#### ③ 焼津市の特性を活かした環境ビジネスを育成する

- ・ホームページにて深層水商品のPR(漁港振興課)  
 海洋深層水の利活用や知識の啓発のため、駿河湾深層水利用者協議会のホームページにて商品をPRした。

### 取組内容の点検評価・次年度に向けての改善点

#### エコアクション21認証取得支援事業について(環境課)

(評価)

令和4年度は認証取得支援セミナーに参加した1事業所が、全5回の課程を修了し、新規の登録事業所となった。

(改善点)

新規登録があった一方、認証継続を停止する事業所もあり、令和4年度は登録事業数が減少した。事業所も人員と経費削減に貢献できるだけでなく、金融機関による低利融資制度を受けることができたり、経費削減のため新たな取組に消極的だが、エコアクション21に取り組むことで、地球温暖化防止に貢献するだけでなく、取引先や消費者等からの信頼性が向上し、企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)の一環にもなることなどのメリットをPRする必要があると考える。



▲エコアクション21認証取得支援事業 説明会